



発行所  
道前会  
愛媛県西条市明屋敷 234  
愛媛県立西条高校内  
電話・FAX 0897-53-2192

平成二十八年度も二か月が過ぎ、もう初夏の季節となりました。会員の皆様のご支援ご協力を頂き会報をお送りできますこと、また日頃よりの母校および道前会へのご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

平成二十七年年度の卒業式、二十八年度の入学式が新築成った体育館に新しい緞帳の幕が上げられて、厳粛な素晴らしい雰囲気のもと挙行されました。なお卒業式には卒業五十年、六十六回卒業約百名の皆さんがご参列下さり、合わせてステージ右側に立派な校訓額をご寄贈され祝福して下さいました。

創立百二十周年記念事業につぎましては、格別のご尽力ご協力を頂き誠に有り難うございました。募金事業は県や国税庁の指導のもと実施しますので、私たちの実情や希望を会員の皆様に伝えるべく、会員以外の事業所、企業からの協力が得られませんでした。募金開始早々から年会費のご協力を頂いてい



ごあいさつ

第8代会長  
村上 俊行  
(58回)

る皆様を超える約二千四百人の方々のご協力を頂きましたが、八月の時点で目標額の三分の一、約八百万円（生徒椅子の支払いと通信費等で残金約四百万円）という状況でした。支払いが迫る中、会を重ね対策を練りましたが、結局異論も出る中、大変失礼であること承知の上協力者に再度のお願いをいたしました。結果は多くの皆様のご協力により緞帳代金を超える金額が集まりました。別表の報告ができるようになりました。皆様の深い温かい心遣いに、私たちは胸が震える感動と深い深い感謝の気持ちと会員であることの幸福感を味わわせて頂きました。お陰さまで一月二十七日に決算報告と事業期成会の解散行事を行いました。私たちの不手際をお詫びいたしますとともに深く感謝申し上げます。

さて母校には県下で初めての国際文理科が設置されました。これも母校を愛する卒業生関係各位のご尽力と学校長の積極的な取り組みによって実現しました。また卒業生の内優秀な大進学学生二名に対し、四年間で九十六万円の奨学金（返済不要）を与えています。また卒業五十年の卒業式へのご招待も十年を超す歴史になりましたが、他校への広がりを見せています。私たちは皆さんの提案も生か

し、先輩の築いた進取の気性を持ち、家族愛母校愛のないものに真の愛国心や人類愛はないという気持ちで会の運営にあたりておりますが、生徒減と会費の納入者が少ないために、学校および生徒への支援の見直し等に迫られています。会費納入へのご協力を伏してお願いたします。

会員の皆様のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

清々しい五月晴れの快い季節もそろそろ終わりを告げ、梅雨の候となりました。全国の道前会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度におきましては、一〇年という大きな節目を迎えるに当たり、会員の皆様方には物心両面にわたるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。私の念願でありまし



第35代校長  
石崎 学

ごあいさつ

た十河信二先生の後輩たちへの熱い思いを伝える「大手門の地球儀」を見事に据えることができ、学校にとりましてすばらしい節目の年とすることができました。さらに、この節目の年に、学校活性化のための理数科の学科改編を決定することもできました。

この学科改編について紹介させていただきますと、本校は平成二七年度の募集定員が普通科

一クラス減の五クラスとなり、理数科・普通科募集定員が二四〇名となりました。しかし、志願者数は定員割れし、二三名という危機的な状況でありました。また、理数科については、平成二〇年度入学生から定員割れが生じ、平成二五年度入学生からくり募集を始めました。

このくり募集によって、理数科の定員は満たしているものの、普通科の定員は満たされない状況がずっと続いていました。このような状況を踏まえて、西条高校活性化地域協議会を設置しました。協議会では、中学生の他市高校への流出を止めるためには、学校のシステムを改善する学科改編まで深く踏み込んで考える必要があると判断されました。本校としては、西条市在住の中学生の他市高校への流出の背景を考える中で、理数科が理系希望だけでなく、文系希望

の生徒の受け皿ともなるように改編することが、生徒の流出を防ぐことになると考えました。そして、協議会において、学科改編の学校案を協議会に議題として提出し承認され、協議会から県教育委員会への要望事項として提言、県教育委員会からは前向きに検討との回答を得て、平成二七年一〇月一三日、県教育委員会で決定されました。

進化論の提唱者であり「種の起源」を記したチャールズ・ダーウィンは、その中で、「生き残れるものとは、最も強いものが生き残れるのではなく、また、最も賢いものが生き残れるのではない。唯一生き残れるのは、いち早くチェンジ（変化）できるものである」と述べています。

生徒諸君には、進化する本校において学ぶとともに、一二年にも及ぶ先輩方が築いてこられた歴史と伝統の精神を受け継ぎ、また、各界で名を成しておられる先輩方が照らす光を頼りに、未来を切り開いていってほしいと伝えました。

道前会の皆様、どうぞ今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

## 部活動状況

特活課長 藤原 博

部活動に加入している生徒は、全校生徒の91.3%で、文武両道を多くの生徒が体現し、有意義な高校生活を送っています。全国大会には下記の通り多くの部が参加しました。

運動部では、県高校総体に218名が参加しました。主な結果では、ソフトボール部、弓道部女子団体の優勝を筆頭に、陸上競技部、水泳、馬術競技でインターハイに駒を進めることができました。四国高校総体においても、ソフトボール部、弓道部女子団体が優勝、陸上競技部女子4×100mで入賞と健闘しました。国民体育大会でも

弓道・馬術競技に参加し、弓道では少年男子団体近似的3位、少年女子近似的8位、遠的8位、馬術競技では、障害飛び越し3位入賞という栄誉に輝きました。野球部は、夏の選手権大会では準々決勝まで勝ち上がり、昨年同様小松高校に接戦の末敗れました。甲子園という夢は果たせませんでした。立派に戦ってくれたと思います。

文化部では、美術部、合唱部が全国高文祭に出場し、立派な発表をすることができました。また、簿記部と事務機械部の全国大会出場、書道部の全国書道

パフォーマンス甲子園出場、声楽アンサンブルコンテストで全国大会出場と、文化部においても運動部に負けじと立派な成績を収めることができました。

なお、本年度も全国大会に出場するにあたり、道前会より御芳志を賜りました。まことにありがとうございました。

また、道前会にも協賛していただきました恒例の芸術文化発表会も、8月13日に西条総合文化会館で美術部、書道部、写真部が展示発表、ダンス部、吹奏楽部、日本音楽部、合唱部がステージ発表をしました。多くの方に御来場いただき、感動のうちに19回目を終えることができました。部員たちはこの発表会を励みに日々練習に打ち込んでいます。次回も8月13日に実施する予定です。御観覧いただき、励ましをいただければ幸いです。

校訓の文武両道の精神のもと、部活動に勉学に励む、心身ともに成長した生徒を育てたいと思います。道前会の皆様におかれましては、今後とも暖かい御声援をいただきますようお願い申し上げます。

## 全国大会出場者

### 〔体育関係〕

- ◎全国高等学校総合体育大会
  - ・ソフトボール部 女子
  - ・弓道部 女子団体
  - ・陸上部女子 4×100mリレー 4名
  - ・水泳競技 1名
  - ・馬術競技 1名
- ◎国民体育大会
  - ・弓道部男子団体 愛媛県選抜 1名
  - ・弓道部女子団体 愛媛県選抜 2名
  - ・馬術競技障害飛び越し愛媛県選抜 1名

### 〔文化関係〕

- ◎全国高等学校校簿記コンクール 2名
- ◎全国珠算・電卓競技会 3名
- ◎全国高等学校総合文化祭 合唱部 台唱部 2名
- ・美術工芸部門 2名
- ◎全国書道パフォーマンス甲子園 書道部 台唱部
- ◎全国声楽アンサンブルコンテスト 台唱部

### 〔定時制関係〕

- ◎全国高等学校校定時制通信制体育大会 (東京都 27年8月)
  - ・陸上競技部 男子 2名
  - ・卓球部 男子 1名
  - ・卓球部 女子 1名
  - ・ソフトテニス部 男子 2名
  - ・ソフトテニス部 女子 2名



進路状況

平成27年度卒業生

平成28年4月14日現在

平成27年度 (H28.3) 卒業生 進路状況 (決定)

Table showing career paths for graduates of Heisei 27 (H28.3). Columns include year, department, gender, university type (National, Public, Private), and job status (Employed, etc.).

平成27年度 (H28.3) 卒業生 合格者数 (延べ数)

Table showing the number of qualified graduates for Heisei 27 (H28.3). Columns include year, department, gender, university type, and job status.

進路課長 矢野裕房

学校創立百二十一年目は、国際文理科設置元年として九年ぶりに定員を充足し、新たに二百八十名の新入生を迎えて、平成二十八年の始まりとなりました。

さて、今春の西条高校の進学状況ですが、国公立大学の合格延べ数は百十三名(既卒生六名を含む)に達しました。内容においても、大阪大学・名古屋大学・九州大学(二名)・一橋大学(既卒生)・神戸大学(二名)、広島大学薬学部などの難関大学に合格しております。また、岡山大学・広島大学に合計七名・地元愛媛大学に二十九名(既卒生二名含む)合格と健闘しました。このうち国公立大学に推薦・AO入試で合格した生徒は四十六名(既卒生二名含む)で、ここ数年五十〜六十名前後であったことからすると少し減少しましたが、前・中・後期試験で最後まで頑張り抜いた生徒が実を結ぶ結果となったことは、喜ばしいことでした。しかしながら、国公立大学志向が強く、早稲田大学・慶応大学といった最難関の私立大学の合格がなかったのは少し残念な結果でもありました。他の私立大学では、自治医科大学(既卒生)・国際基督教大学に各一名、関同立に合計二十六名(既卒生七名含む)、地元松山大学に七十六名と合格し健闘しました。商業科においても、国公立大学に四名見事に合格したをはじめ、私立大学十五名、私立短大一名、専門学校八名となり二十七名が進学しました。就職においては、求人数が減り厳しい中、全体で、十八名が就職し、そのうち事務職が六名と健闘しました。公務員においても難関を突破し、西条市役所に一名、西条市消防に二名が採用されています。

ここで、今年度入試状況の分析をしてみます。一月十六・十七日の二日間行われた大学入試センター試験におきましては、志願者数五十六万三千七百六十八人(昨年比100.8%)、受験者数は五十三万六千八百二十八人(昨年比101.2%)といずれも昨年から大きな変化はありませんでした。国公立百六十四大学の募集人員十萬五千五百七十七人(推薦AO除く)に対しては四十七萬六千四百四十四名が志願し、平均4.7倍(前期3.2倍、中期14.0倍、後期9.7倍)の難関に挑みました。難関大学や医学科においては後期日程廃止・縮小の動きが続いており、推薦・AO入試でより意欲の高い学生を確保する傾向がますます強まっています。東京大学では後期日程が廃止されたのを機に初めて推薦入試が実施され、京都大学においても、特色入試が初めて実施されました。本校からの受験者はいませんが、県内の高校生の中には東大の推薦入試、京大の特色入試にチャレンジし、合格した生徒もいたようです。ただし、合格した生徒は日本生物学オリンピックの全国大会で金賞を受賞していたり、ロボットコンテストの全国大会で上位に入賞するなど突出した実績を持ち、さらにセンター試験でも高得点(九割)をクリアできた生徒のようです。大学側としては、極めて優秀な人材確保のための新たな試みといえるでしょう。本校においても、難関大学の特色入試に挑戦できる生徒を育成していきたいと思っております。また、国公立大学教育学部の定員減に伴い学部再編が進み、「地域」「国際」の名が付く学部が新設されていて、地元愛媛大学も社会共創学部を新設し、地域の課題解決を担う人材の育成に力を入れてきています。さらに、山口東京理科大学や福知山公立大学のように私立大学が公立化することも増えています。

これからも母校の進路指導に御理解をいただき、愛すべき後輩たちへの温かい御指導・御支援を賜りますようお願いいたします。

# 随想



## 親の恩・学恩・社会恩 我が人生の 神縁人縁に感謝 十亀興美（58回）



私、昨年一月末をもって五十年間奉務させていただいた、石鐘神社宮司を退職し、名誉宮司を拝命いたしました。顧みれば人生七十六年、親の恩、学校の恩、郷土の皆様のご教導等、数知れぬ方々の御恩をいただいて今日を迎えたことに、心より唯々感謝あるのみであります。

西条高校にあつては五十八期生として、人生の根幹を育てていただきました私達同期生は、第二次世界大戦の終戦の翌年、昭和二十一年が小学校一年生として、戦後を歩んでまいりました。それ故に、筆舌に尽せぬ戦争の悲惨さの中に将来があるのかと、幼少年期の不安、食糧難のため親は大変な苦勞をし、子供心にも、ひもじさ、辛さ、ありがたさを痛感し、「一粒の米を粗末にしたら目がつぶれる」の教えは、身にしみたまのでした。それ故に我慢や忍耐、皆助けあつて生きなければならぬこと

を身をもって体験し、大人達の必死の生き様にふれ、戦後復興に向かう努力によって育てられ、小中学校を卒業、当時最も楽しく生涯忘れえぬ思い出「ふるさと」を感じたのか、氏神の祭と運動会でした。

そして西条高校三ヶ年の思い出は格別、青春多感なる人生の大切な岐路となった故郷最後の学びの庭に学んだ同期生、戦後の苦難の中に何か共通の魂を共有した不思議な感性が根幹を支えていただき、共に夫々の道を選択し、天職を使命として社会人の責務を果たしてまいりました。

右、私達同期生は中年を迎え、先祖参りのお盆、八月十四日同期ゴルフ例会が生まれ、それが礎となり現道前会長村上俊行氏を始め、すばらしい世話人によって、西条祭の故郷帰りの十月十四日をメイン例会日とし、三十三年卒のご縁から燦々会を結び、三十年余の今日まで毎年懇親会を催し、母校への恩、ふるさとへの恩、共に歩んだ青春の高校時代そのままに、今があることを称えあうことができていることに感謝であります。

右の如く私達は敗戦という苦難の時代に生をうけましたが、大人等の努力によって復興そこに人生の教訓を目の辺りにして育ち、それが支えとなり今日の幸せをいただいている

ものとありがたいと思うところであります。

しかし乍ら現下の世情は終戦後とは違った意味で複雑に変化し混乱の時代、かつて経験したことのない無き時代と言われています。私は利己主義につながっている個人主義を強調する憲法を改正し、公に尽す人間づくりの教育をすること、義務と責任秩序ある思いやりのあるたのもしい子供達の育成に、倫理・道徳感を教育し自然界の命をいただいで生かされる衣食住への感謝こそ大切、児童虐待や老人の孤独死にみる家族の現状と犯罪の常態化を一扫し、一家団樂の楽しい家族づくりの食育・感謝・尊敬・信頼・祈りが、日本の辞書から消えたかの思いの大切な心をとり返し、榮えゆく子供達の未来のために共に努力しようではありませんか。

## 私とVYS部 中西純子（78回）



私は現在、愛媛県立医療技術大学で学部長・大学院研究科長・理事をしています。本学には西条高校から

も毎年数名の学生が入学してくれています。オープンキャンパスや受験に来てくれた高校生の胸元のグリーンリボンを見ると、なつかしく当事を思い出します。

高校時代、私は合唱部とVYS (Voluntary Youth Socialworker) 部と2つの部活動をしていて、VYSでは部長を務めていました。合唱部は中学時代からの延長でしたが、VYSのほうは、「VYSって何？」から始まる未知の世界でした。今回、この随想を当時の青年VYSとして活躍されていた山田さんから依頼いただき、久しぶりにVYS部の活動を振り返ってみました。

愛媛県の方ならばVYSのことはご存知の方も多いと思いますが、昭和20年代後半に地域を活気づけようとして生まれた愛媛県発祥のボランティア活動でその後全国に広がりました。「平成24年度県内の高等学校におけるボランティア活動の状況に関する調査結果」によると、県内の他の高校には今もVYS部が存続しているようですが、西条高校には残念ながらなくなっており、JRCや生徒会活動としてボランティア活動が行われているようです。

VYS部は高校の部活ではありませんが、通常の部活とは大きく異なる特徴をもっていました。それは、高校生の活動の枠を超えて、地元の青年VYSや福祉関係の大人の方々と一緒にボランティア活動を行っていたこと、また、VYSが全国組織であることから、他県のVYS活動



真心を運ぶ  
**道前運送株式会社**

代表取締役 森川 公 (85回卒)

西条市今在家770番地  
TEL 0898-64-5115 FAX 0898-64-4777  
http://www.dozen-unso.co.jp



グリーン経営認証



安全性優良事業所



をしている高校生たちともキャンプや研修会、全国大会などを通して交流をもっていたこと、そして、なにより、活動の中味が、児童館や地域の子ども会活動の支援、老人ホームや児童養護施設の慰問、子どもや障がい者、高齢者が集まるイベント時の手伝い、西条駅前の清掃や街頭募金活動など、通常の高校生活では経験できないような幅広く多様な経験だったことにあります。

こうした活動のなかでも特に思い出深いのは、自分たちで独自に脚本から人形、舞台装置まで手作りして人形劇を製作し、地域のいくつかの子供会に呼ばれて上演できたことです。ボランティア活動は無形の活動です。しかし、人形劇製作では皆が一体となってひとつの形あるものを作り上げ、それを人に喜んでもらう経験ができたことは私たちにとても大きな喜びになりました。

私は人を対象にして日々変化のある仕事をしたくて、看護と教育の道に進みました。こうして振り返ってみますと、高校時代のこれらの経験が今の私の仕事につながっていると改めて感じています。後輩の皆さんにもボランティアに限らず、若いうちには是非、多様な経験をしてほしいと思います。

ところで、2年ほど前のこと。卒業以来、30年ぶりに3年5組の同窓会を開きました。集まったのは10人でしたが本当になつかしく、歓談の最後はやっぱり校歌斉唱。歌詞カードは用意していたのですが、なんと、

皆、「♪しこくのれんぼう…」と口を切るなり3番まで空で歌えました。「同窓生としてのつながりは校歌にあり」としみじみ思ったなつかしいひとときでした。



この度貴誌への寄稿の機会を頂き、嬉しく有難く存じます。

初登校の日のことは、殊にくつきりと覚えています。ある事務職員さんがわたしの顔を見るなり「あなたのお母さんは\*\*\*\*(母の旧姓)さんね」と断言されました。それを皮切りに校内では、母方の姓、伯母の結婚姓、そして自分の姓(母の結婚姓)の三つの苗字で呼ばれるようになりました。当時の学校関係者には何人も母と伯母の友人や先輩後輩がおられ、「あれの娘/姪か」と知れ渡っていたのです。恐るべし西条高校族。

どの苗字にもハイハイと返事をしていたら、進級して同じクラスになった子が、「『あの子の苗字は結局何なの?』って話題になってたんだよ」と教えてくれました。姪二人がやはり西条高校にお世話になりましたが、幸か不幸か、同じ目には遭わなかったようです。

それから幾星霜、わたしは現在、主に外国での人道支援の仕事をして

います。

このように書くと、まあボランティアでえらいわねえお給料どうしてるの? などとご心配を頂きます。ですが、自己犠牲的な無料奉仕をしているわけではなく、専門組織の職員として働いています。チームワークで仕事をし、そしてたいがい特殊な資格は不要という点では、多くの会社員や公務員と違いはありません。

人道支援を行う組織には国連系、政府系、あるいは民間の専門組織(NGO)などに分けることができます。わたしは長く、NGOの職員として働いてきました。

人道支援とは、大規模な災害や武力紛争によって苦しめられている人々に、食糧や医療など、当面の生命をつなぐ物品やサービスを政府に代わって提供する「緊急支援」、そして、被災当事者自身による生活再建・復興事業を手伝う「復興支援」に分けることができます。

さらに「復興支援」には、給水と衛生指導、住宅再建、親を失った子へのケアなどの「人」への支援、病院や学校、あるいは道路や上下水道の再建など「地域」への再建、さらには都市計画、教育制度や医療制度の改善、警察官の再教育など「国家」再建への支援などなど、様々です。

そうした事業を実施するチームの中で、わたし自身の役割は、チームリーダーであり、何でも屋の裏方です。方針と計画をたてて必要な資材を調達し、医療や建設の技術専門職を束ねてひとつのチームにまとめあ

げ、宿舍や食事を手配して生活基盤を整え、チームの安全を確保し、地雷原を避け、時には億単位の資金繰りに泣き、他の団体と支援の重複や漏れが起らないように話し合いを重ね、警備員やコックさんを雇い、企業でいえば「現地支店長」でしょうか。

先輩後輩の同窓諸姉には、外国の災害や戦争をニュースでご覧になったら、むかし大手門の手前のお濠端で、毎朝毎夕石鎚のお山を振り仰いでいた子どもが、そうした国の子どもも、西條の子どもと同じような穏やかな生活を取り戻せるように働く大人になった、ということを思いだして頂ければ幸いです。



学校法人 西条めぐみ学園

## めぐみ幼稚園

西条市朔日市623-2番地  
TEL 0897-55-3442



社会福祉法人 清和会

## めぐみ保育園

西条市朔日市626番地  
TEL 0897-55-3560

# 創立120周年



創立120周年スローガン

## 飛躍天翔 大手の門は世界に通ず



### 沿革

文化 2年	8代西条藩主・松平頼啓、藩学問所「拓善堂」を設立
(1805年)	
明治29年	4月 愛媛県尋常中学校東予分校として創設され開校
明治32年	4月 独立して愛媛県西条中学校となる
昭和123年	4月 学制改革により愛媛県立西条第一高等学校となり、併設中学校を設置
	10月 定時制課程を併設
昭和24年	9月 高校再編成により西条第二高等学校を統合し、愛媛県立西条北高等学校となる
昭和125年	4月 通学区制を実施し、男女共学となる商業科を設置
昭和30年	4月 愛媛県立西条高等学校と改称し、西条南高等学校普通科300名を統合
昭和134年	8月 第41回全国高等学校野球選手権大会で優勝
昭和43年	4月 理数科を設置
昭和47年	4月 衛生看護科を設置
昭和153年	10月 全国学校音楽コンクール高等学校の部で最優秀校に選ばれる
昭和54年	11月 創立80周年記念式典および普通科教棟落成式を行う
昭和160年	11月 道前会館が新築される
平成 7年	11月 創立100周年記念式典を実施
平成16年	3月 衛生看護科閉科となる
平成27年	3月 体育館が新築される
平成27年	11月 創立120周年記念式典を実施
平成28年	4月 国際文理科新設

### 緞帳の原画についての思い

日浅和美(63回)

私にとって絵を描くことは、地図を持たずに気の向くままに旅をすることと似ています。行先不明の切符を持ち、混沌を道連れにして直感を頼りに未知のものとの出会う魅惑的でマイペースの旅をしてきたのです。そんな時へ石鎚へ行きというはつきりとした目的地向かう制作の旅が始まったのです。三年前の秋のことでした。

久しぶりに不案内という不安から解放されて、はつきりとした目的の中にあるゆとりと心地良さを味わいました。ところが心弾ませ制作を進めていたはずなのに、決まった目的地に囚われてしまう不自由さと、直行したくないという心の葛藤が始まりました。

他を意識する自分がある、それを捨てたいと思いました。テーマを受け入れてもできる限り遠回りをし、至難に出会いたいことを望み、ぶち壊しの連続となり、やがて目的を意識外に置けるとき、石鎚がへ私の内なる石鎚となり、息づき始めて、自由を与えてくれました。

このことから、何十年と絵を描き続けている大切な意味、それは何物にも囚われることなく、いかにして純粹に魂を自由に解放させるかということだったのだと再認識させられたのです。

フランスに戻る前、村上会長、石崎校長とご一緒に改めて緞帳を見る機会がありました。その

時一歳半になる姪の娘もまた一緒に居ました。抱っこされていた手を退けるようにして、真新しい講堂の床に降り立ち、真ん中にひかれた白線の上を小さな素足で真っ直ぐ緞帳に向かって両手を翹るように広げ、ワオッーと叫んで走り出しました。

途中、立ち止まり、座り込み、そして見上げ、再び駆け出し、巨大な緞帳の前まで来て動かなかされました。私はその姿に驚かされ、不思議な感動を覚えました。

この幼な児が十四、五年後緑色のスカーフを結ぶという縁に恵まれ、再び緞帳と対峙した時、この記憶がどこでどのようにして繋がるのだろうかと思いを馳せていました。そして、緞帳が出来上がった今、在校生たちの学校生活の折々に擦り込まれて育っていく感性や、先輩が贈ってくれた温かい思いやメッセージが青春の記憶として真っ直ぐ力強く受け止められ、受け継がれていくことを心から願ってやみません。

さらに何よりも道前会の皆様とご一緒にこの大切な仕事と、同じ時を共有し定着できましたことは大きな喜びとなりました。心から感謝申し上げます。

二〇一六年二月

巴里にて

本店 西条市西田甲538-2 (0897-55-8474)  
 東町店 西条市東町225-2 (0897-56-2447)

代表取締役社長 星加勇蔵 (56回卒)  
 常務取締役 星加裕史 (94回卒)

慶応三年創業名物元祖

株式会社 **星加のゆめ**



## 創立120周年記念式典・記念講演

日時／平成27年11月5日（木）  
 場所／西条高等学校体育館  
 記念式典／10：00～11：10 記念講演／11：25～12：25  
 講 師／藤原 健嗣 氏（65回卒 旭化成株式会社常任相談役（前社長））  
 演 題／「大手の門は世界に通ず」



## 創立120周年記念招待野球

日時／平成27年5月30日（土）  
 場所／西条高等学校グラウンド



### 愛媛県立西条高等学校 創立120周年記念事業収支決算書

免税寄附金  
 収入の部 20,117,244円  
 支出の部 20,117,244円  
 差引残額 0円

#### 収入の部

項 目	当初予算額	更正予算額 (A)	決 算 額 (B)	増 減 額 (B) - (A)	摘 要
寄 附 金	22,500,000		20,117,000	△ 2,383,000	
郵便局			12,505,000		
コンビニ			2,037,000		
伊予銀行			756,000		
愛媛銀行			36,000		
東予信用金庫			4,783,000		
雑 収 入			244		預金利息
合 計	22,500,000		20,117,244	△ 2,382,756	

#### 支出の部

項 目	当初予算額	更正予算額 (A)	決 算 額 (B)	予算残額 (A) - (B)	摘 要
記念事業費	19,596,600	18,030,600	16,281,000	1,749,600	
体育館綴帳	12,852,000	12,852,000	12,830,400	21,600	
体育館パイプ椅子	3,504,600	3,504,600	3,450,600	54,000	
体育館用具増援	3,240,000	1,674,000	0	1,674,000	
募金事務費	2,903,400	4,469,400	3,836,244	633,156	
印刷・通信費			3,350,513		
諸経費			485,731		
合 計	22,500,000	22,500,000	20,117,244	2,382,756	

平成27年11月14日 監査

愛媛県立西条高等学校  
 校長 藤原 健嗣

## 創立120周年記念文化祭

日時／平成27年11月6日（金）  
 場所／西条高等学校



株式会社 ライフブレイン

あなたの街の結婚相談所 **しあわせたまご**

地元根差した私たちだから出来ることがあります。まずはご相談ください。



総合人材サービス

**株式会社ザ・ワークス**

お仕事のことならおまかせください。  
 マイスタークラブ（60歳以上）の方も募集中。  
 お気軽にご連絡ください。



ヒューマングループ 株式会社 ザ・ワークス 株式会社 ライフブレイン 有限会社 コアー（万田酵素）

代表取締役 井上 隆寿（65回卒） 愛媛県西条市喜多川622-1 TEL：0120-8787-15

# 平成27年度記念総会

## 創立120周年記念道前会 総会・記念講演

日時／平成27年11月7日（土）  
 場所／(株)ドリーマーベルフォーレ西条  
 開会／14：30～ 講演／16：00～  
 講師／高橋 広氏 (73回卒 早稲田大学野球部監督)  
 演題／「私の野球人生」



高橋 広氏 (73回)

### 講演会の様子

道前会総会は2年に一度開催されます。本年は、総会開催年でしたので、平成27年11月7日（土）ベルフォーレ西条において、西条高校創立120周年の記念総会として役員はじめ多数の方々のご協力により250名余りの参加を得、内容も盛りだくさんで開催されました。

当日は、創立120周年を寿ほぎ西条高校日本音楽部と講師・千田京子（67回）門下生の皆さんによるお琴の演奏に続いて、合唱部の皆さんの合唱で、厳粛かつ穏やかな雰囲気の中で始まりました。

司会は、年森恭子理事（79回）。物故者への黙祷、村上俊行会長（58回）、石崎学校長挨拶、笹沼美千代副会長（58回）から来賓紹介の後、寺川和夫事務長（65回）より平成26年度会務報告・会計報告、監査報告。平成27年度事業計画・予算の説明がなされ、滞りなく総会議事を終えました。

続く総会記念講演は、早稲田大学野球部監督の高橋広氏（73回）を講師にお迎えし、約

1時間にわたり、野球選手としての高校・大学時代、高校野球指導者としての30年。そして現在に至る「私の野球人生」と題し爽やかなスボ根物語を楽しくお話しいただきました。

恒例の親睦会は、今治道前会の西辻勝平会長の乾杯のご発声の後、楽しくまた懐かしく時間の経つのも忘れ、先輩後輩の垣根を越え盛り上がりました。出席者は白菊38回の皆さまを最年長に第113回の若い世代までと120周年という歴史を感じる顔ぶれです。

『先輩には甘えんかい 後輩の面倒はみたらんかい』の精神があふれています。

また、石川智久理事（73回）の進行により参加者全員に空くじなしという福引大会も行われ、会場は大いに沸きました。

二年後の次の総会にも元気で参加しようとの名残を惜しみつつ散会となりました。

今回も総会に先立ち、本部・支部役員懇親会が開催され、会費納入や補助金、支部の活性化などについて、短い時間ではありましたが有意義な意見交換会となりました。





平成27年度一般会計決算報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日 単位 円

収 入

Table with 5 columns: 科目, 当初予算額, 更正予算, 収入額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会 費, 入 会 金, 手 数 料, 広 告 料, 雑 収 入, 合 計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 当初予算額, 更正予算, 支出額, 増 減, 摘 要. Rows include 総 務 費, 需 用 費, 通 信 費, 旅 費, 人 件 費, 事 業 費, 会 議 費, 総 会 費, 予 備 費, 合 計.

収支差引額 収入額 9,790,913 - 支出額 7,776,793 = 繰越額 2,014,120

平成27年度積立金会計決算報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前期繰越額, 当期積立額, 当期取崩額, 次期繰越額.

平成27年度全国大会出場祝基金 会計決算報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前期繰越額, 当期積立額, 当期取崩額, 受取利息, 次期繰越額.

平成27年度末財産目録

平成28年3月31日 単位 円

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 預 金, 資産合計, 内 任意積立金, 全国大会出場基金, 一般会計繰越金.

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。平成28年4月7日

Accounting audit signatures: 徳 増 達 史, 秦 敏 明, 阿 蘇 道 子.

平成28年度一般会計収支予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日 単位 円

収 入

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 前期繰越金, 会 費, 入 会 金, 手 数 料, 広 告 料, 雑 収 入, 合 計.

支 出

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増 減, 摘 要. Rows include 総 務 費, 需 用 費, 通 信 費, 旅 費, 人 件 費, 事 業 費, 会 議 費, 総 会 費, 予 備 費, 合 計.

平成28年度事業計画書

- ◎ 会報の発行 (第24号は平成28年6月1日発行予定)
◎ 支部活動への助成並びに同期会開催等への支援・協力 (資料作成等)
◎ 卒業生へ記念品の贈呈 (卒業証書ファイル・道前賞)
◎ 新入生へ絵葉書の贈呈
◎ 生徒の全国大会出場へのお祝い (高体連・高野連・高文連主催)
◎ 文化祭における在校生への啓発活動 (道前会コーナーの開設)
◎ 文化部発表会の助成

平成27年度会務報告

平成27年

- 4月 8日(水) 平成27年度入学式
4月13日(月) 平成26年度会計監査
4月22日(水) 理事会
4月27日(月) 評議員会
5月27日(水) 理事会
6月 7日(日) 東京道前会総会
6月14日(日) 近畿道前会総会
6月17日(水) 理事会
6月20日(土) 岡山道前会総会
7月15日(水) 創立120周年記念事業第4回期成会・理事会
8月13日(木) 芸術文化発表会
8月21日(金) 臨時理事会
9月 2日(水) 運動会
9月16日(水) 創立120周年記念事業第5回期成会・理事会
10月17日(土) 今治道前会総会
10月21日(水) 創立120周年記念事業第6回期成会・理事会
11月 5日(木) 創立120周年記念式典
11月 6日(金) 創立120周年記念文化祭・道前会コーナー
11月 7日(土) 創立120周年記念道前会総会
11月15日(日) 松山道前会総会
12月 9日(水) 理事会

平成28年

- 1月27日(水) 創立120周年記念事業期成会解散式・理事会
2月17日(水) 理事会
2月18日(木) 市役所道前会総会
2月29日(月) 道前会入会式
3月 1日(火) 平成27年度卒業式(第116回)
3月16日(水) 理事会

# 支部会だより

## 東京道前会

幹事長 明比章 (70回)

### 東京道前会便り

平成27年度の総会は、6月7日(日)11時より、昨年と同じく緑豊かな明治記念館において開催されました。

当日は、梅雨の合間の爽やかな晴天の中、約150名の方々にお集まりいただきました。

来賓として母校からは石崎校長先生、本部からは村上会長、また、西条市から青野市長、東海道前会から森山副会長、近畿道前会から高須賀副会長にお越しいただきました。

総会は、東京道前会山内会長の開会の挨拶に始まり、来賓として石崎校長先生、村上道前会長にご挨拶をいただきました。石崎校長先生からは、完成なった新体育館について写真を紹介しながら説明され、その様子をイメージすることができました。また、青野市長からは、西条市の現状についてのお話がありました。

続いて明比幹事長から活動報告、会計報告、事業計画、予算案、会則改正案の上程や、得永会計監事から監査報告などがあり、賛成多数で承認されました。さらに退任役員の紹介がありました。

懇親会は、例年のように年の差が70歳ほど開いた大先輩の国田さん(44回)、光永さん(白38回)、真鍋さん(白40回)と、今年母校を卒業した最年少115回の9人の皆さんにご登壇いただき、それぞれから一言ご挨拶の後、国田さんの乾杯の音頭で幕を開きました。

食事が一段落したところでアトラクションとして、今回はOLシンガーとして活躍中のLumiさん(横山瑠美さん(97回))

に登場していただき、張りのある声を聞かせていただきました。Lumiさんは、数年前の総会でも、アカペラグループ「viduan duo」のリードボーカルとして、美しいハーモニーを披露していただいた方です。

今回も寺田運営委員長が会場を回って初参加の方々を紹介し、次回以降も総会へ参加しやすい雰囲気作りを頑張っていました。恒例の抽選会ではゲストのLumiさんにお手伝いいただき、くじを引いていただきました。当たった人にはその都度、周りからの温かい拍手が送られていました。

最後は恒例の女学校校歌に始まり、南海道前、校歌に続いて、本会応援団の指揮のもと、応援歌を元氣よく歌って盛り上がりました。締めくくりとして、近藤副会長の閉会の挨拶があり、来年の再会を期して、今年の楽しい総会の幕を閉じました。

その他の活動として、今年も母校の文化祭に藤田事務局長、和田運営副委員長と、大学生会員の高橋さん(113回)が参加させていただきました。特に在校生と年齢が近い高橋さんに、大学生の目から見た東京道前会の話をしてもらったことは、高校生に対する東京道前会のアピールに寄与したと思います。



## 東海道前会

副会長 森山桂一 (60回)

### 東海道前会活動報告(平成27年度)

1、平成27年度は総会開催年度(隔年開催)ではなかったため総会は開かれなかったが役員の変動による若返りが行われた。

前幹事長の今井正美氏(66回)が病に倒れたため今年度より名城大学法学部教授の浅木慎一氏(72回)が新幹事長に、また森寅副会長(58回)に代わって森山桂一(60回)(元帝人の合併子会社社長)が新副会長にそれぞれ幹部会で選出された。

浅木幹事長の父親 浅木一美氏(42回)は昭和31年から42年まで西条高校で数学の教鞭をとり、後に松山東高校の校長を務められた方である。

自宅が西条高校のすぐ裏にあり慎一氏は野球部の練習する球音と大きな掛け声とともに育ったせいで西条高校野球部への思い入れは並大抵のものではなくそれを自他ともに認めている御仁である。現在は愛知六大学リーグの強豪名城大学の野球部長を務めている。

新幹事長、新副会長ともに支部幹事の経験もなく道前会の運営に携わるのは初めてである。

そこで前幹事長らが進めようとして結局断念した支部会費募集による会報の定期発行などについて他支部の状況を知るべく森山副会長が27年度の東京道前会総会、道前会本部の総会、本部支部幹部懇談会への出席、西条高校文化祭の道前会のブース見学、などを行い幹部会を開いて内容を報告した。

今後には生かすべく活動を始めたところである。

2、

恒例の東海道前会親睦ゴルフコンペが平成27年11月6日(金) 東名古屋カントリークラブ西コースで行われた。参加人員は山路正雄会長(50回)をはじめ12名であった。

成績は遠山利弘氏(65回)が昨年に続いて連続優勝し2位は自称タイガーウッズの森寅男氏(58回)、3位は山路会長であった。

本コンペは山路会長、渡部宏副会長(51回)、長野達夫副幹事長(58回)などの紹介で毎年ハイグレードのゴルフ場で格安にプレーができるよう便宜をはかり、多くの会員が参加しやすくしています。

会員の方は誰でも参加できますのでどんどん参加して盛り上げて下さい。参加希望者の連絡先は下記の通りです。

伊藤新一郎(60回)  
TEL 052-791-8508



# 西条金融協会

伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫 百十四銀行  
広島銀行 香川銀行 西条市農業協同組合 四国労働金庫



### 近畿道前会

幹事長 圖子洋志 (69回)

#### 2015年度近畿道前会総会報告

2015年度近畿道前会総会は2015年6月14日(日)、ホテルグランヴィア大阪に於いて盛大に開催された。

道前会本部から村上俊行道前会会長、西条高校からは石崎学校長、西条市から青野勝西条市長、東京道前会から明比章幹事長を来賓としてお迎えし、参加の近畿道前会会員も70名を超え、盛大で楽しい総会であった。

総会は例年通り、岩崎副会長の司会進行で、物故者に対する黙祷、近畿道前会、三浦会長による開会挨拶、来賓ご紹介、来賓ご挨拶、公務報告、会計報告、会計監査報告がつつがなく執り行われた。

ご来賓の方を代表して、村上俊行道前会会長と石崎学西条高校校長にご挨拶をいただき、それぞれ、120周年行事への道前会としての支援方針、大手門の逸話や西条高校の現状についてお話しされた。公務報告においては、圖子近畿道前会幹事より2015年度の幹事会、歩こう会、ゴルフ部などの活動状況をご報告いただいた。

また、越智会計幹事より2015年度の近畿道前会の会計報告がされ、土岐会計監査委員からは、2015年度の近畿道前会の会計監査報告があり、満場一致で承認された。

今回の総会では、「下野好子さんの歌とおしゃべり♪」と題してミニリサイタルを行った。下野好子さんは新居浜市泉川のお生まれで、昭和21年3月に西条高等女学校をご卒業された。

現在は、古京都を中心に音楽の仲間「花」の代表として活躍され、無名の音楽家などに発表の場所の提供などを行って、音楽家の育成にも尽力されている素晴らしい人である。①月の砂漠 ②ル・

シッド ③宵待草 ④桜貝の歌 などを歌ったり合唱したりして頂いた。  
また、懇親会においては女性副会長の高須賀和子さんを中心に、近畿道前会女性メンバーの厚い協力により楽しく進められた。



### 岡山道前会

幹事長 三浦賢稔 (58回)

#### 岡山道前会便り

岡山道前会は、1985年(昭和60年)5月26日に設立総会を開催して以来、本年30周年を迎えることができました。

この記念総会を平成27年6月20日(土)に母校から石崎校長、本部から村上会長のご出席をいただき会員17名の参加のもと岡山市で開催いたしました。

総会は、岡山道前会結成以来鬼籍にはいられた方々のご冥福をお祈りし黙祷をささげたあと、普会長の挨拶(30周年を振

り返りながら総会参加者の暫減と若年者の減少傾向を打破するための努力を野菜を育てる気持ちをもって継続して取り組むこと)に引き続き、石崎校長及び村上会長から

(1) 母校は、本年創立120周年を迎え体育館の建設など各種の記念事業に取り組んでいること。これらに対し会員各位のご協力、ご支援をお願いしたいこと。

(2) 生徒は、大学への進学及び部活動に文武両道の精神で取り組んでいること。

(高校総体の県大会で女子のソフトボールと弓道が優勝したこと)などの現状の報告をいただきました。

特に、石崎校長から一校章が制定以来西条中学・高校を通じて改定されていないという希有な伝統の重さを自覚し、飛躍天翔大手の門は世界に通ずる校是として多様な人材の輩出に努めたい。」との決意が表明されました。

議案審議では、特に異論なく、原案どおり承認されました。

このあと、傘寿を迎えられた方々(4名)を顕彰し、記念品を贈呈しました。

懇親会は、傘寿を迎えられた方々の乾杯の音頭で開宴し、

(1) 初参加者の方々の自己紹介と近況報告

(2) 佐竹氏(岡山大学)、工藤氏(中国語学院)から国際交流の大切さと必要性について、自らの職務上の体験に基づく報告

(3) カラオケ

などで充実したものになりました。そして、石崎校長、村上会長及び中島氏のリードで校歌を合唱したあと、神崎氏の締めで、岡山道前会の次のステップへの飛躍を誓い閉会しました。

また、親睦行事では、30周年を記念して、母校への表敬訪問と西条秋祭り観賞を主たる目的に親睦旅行を10月16日に13名の参加を得て実施しました。当日は、好天気に恵まれたうえに、村

上会長のご配慮により、新営なった体育館の拝見と記念撮影、秋祭りの川入りでは特別ポジションでの観賞と参加者全員感激と感動を得て帰途につきました。



### 松山道前会

会長 藤本諫男 (58回)

#### 松山道前会活動報告

平成27年度松山道前会総会を秋晴れに恵まれた11月15日(日)の正午より、例年通り東京第一ホテル松山にて会員79名、来賓4名の出席のもと開催した。(今年松山道前会が道前会松山支部から衣替えしてから22年になる。)

来賓として母校より石崎校長、道前会より村上会長、寺川事務局長、西辻今治道前会会長の出席をいただいた。総会は安藤事務局長(68回)の司会で始まり、最初に物故者への黙祷を捧げた後、全員

ビルメンテナンス・ハウスクリーニング  
**イトービルサービス**  
 代表取締役 伊藤正己



で校歌を斉唱した。藤本会長の開会の挨拶、続いて西条高校の石崎校長、道前会会長の村上俊行氏からのご挨拶をいただいた。議事に入り、事務局の動き、収支報告、又会報部長を井原孝明氏(63回)が退任し、渡部英子氏(76回)を新任とする案に満場の拍手で承認を得た。

その後のアトラクションは、プロのギター演奏者として活躍している松山道前会会員の高橋孝雄氏(77回)のギター伴奏と女性歌手の美声で『学生時代の友情を永遠に』をテーマとした数曲を聴き会場は盛り上がった。

懇親会に移り亀岡マリ子副会長(65回)の乾杯の音頭で開宴し、終始なごやかな雰囲気が進み楽しいひとときを過ごすことができた。締めくくりは徳永周三副会長(69回)が閉会の挨拶と一本締めで総会を閉じた。

恒例の松山道前会親睦ゴルフ大会は、平成27年度春季ゴルフコンペ(42回目)を5月23日(土)、15名参加によりチサンCCで行なった。成績は優勝日野俊和(83回)、準優勝斉藤晃(66回)、3位安藤敏朗(68回)であった。また、秋季ゴルフコンペ(43回目)を10月24日(土)久万CCで参加者7名により行なった。成績は優勝長井英二(61回)、準優勝日野俊和(83回)、3位十亀栄一(54回)であった。

(注) 秋季コンペで長井英二氏はイン11番で4回目のホールインワンを達成。



**今治道前会**

幹事 中須裕二 (85回)

**総会を開催**

一年半ぶりとなる今治道前会の総会を平成27年10月17日(土)16時から今治国際ホテルにて開催致しまし

た。来賓に、村上俊行道前会会長(58回)、笹沼美千代副会長(58回)、遊口親の副会長(62回)、山田順副会長(71回)、寺川和夫事務局長(65回)、藤本謙男松山道前会会長(58回)、そして母校より石崎学校長を迎え、総勢32名の出席を得ることができました。

司会を戸田廣行今治道前会幹事(72回)が務め、先ず、出席者全員で物故会員の方に黙祷をして哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致しました。

そして、西辻勝平今治道前会会長が開会の挨拶を行い、来賓を代表して、石崎学校長及び山田順道前会副会長の挨拶を賜り、来賓紹介の後、懇親会へと進みました。

今回の総会は、重要な議題や報告は特には無く、懇親会中心の総会となりましたが、石崎学校長より西条高校創立120周年記念式典、大手門のこと、平成28年度から始まる国際文理科のこの説明を受けました。

懇親会は、加藤逸夫氏(52回)の乾杯の音頭により始まり、久しぶりの懐かしい顔に、顔がほころび、近況報告や思い出の高校時代の話に花が咲いていたようでした。また、出席者の卒業年度も52回から108回と幅広く、学年を越えた話の輪がこちらこちらで広がっていました。かくして懇親会は終始なごやかな雰囲気が進み、楽しいひと時を過ごすことができました。

和気あいあいの内に懇親会も終わりとなり、来年の再会を期しつつ、出席者全員で校歌を高らかに斉唱し、長井孝司今治道前会副会長(70回)に万歳三唱で締めを頂き、総会を無事終えることができました。

今後、定期的な開催を目指して行きたいと思っておりますので、会員の皆様、参加、ご協力のほど、よろしくお願い致します。



**道前会西条市役所支部**

幹事長 武田仁志 (75回)

**道前会西条市役所支部便り**

西条市は、昨年4月から「第2期西条市総合計画」をスタートさせ、引き続き「人が集い、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現のために種々の施策を展開し、まちづくりに取り組んでいるところです。

また、10月には全国的な課題である人口減少の克服に向けた「西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、この総合戦略のリーダーング・プロジェクトとして「四国経

済を牽引する総合6次産業都市」を位置づけ、本市の強みである農業生産力と工業集積を生かした、新たな地方創生のまちづくりがスタートしたところでもあります。

さて、当支部は、平成27年度総会を平成28年2月18日、ベルフォーレ西条にて開催しました。当日は、来賓として道前会から村上俊行会長、寺川和夫事務局長、学校から鈴木強事務局長、さらに青野勝西条市長のご臨席を賜り、総会では西条高校創立120周年記念事業への寄付を含む27年度事業報告及び決算報告、28年度予算案を承認・可決し、役員改選では真鍋和年会長(66回)を再選しました。

懇親会では、世代を越えて和気あいあいと親交を深め、最後に全員で校歌を熱唱して閉会しました。参加者は在学時を懐かしく思い起こし、会員相互の絆をさらに深め、母校への思いを新たにしたいと感じています。

当支部は、母校に最も近い場所に位置する支部として、今後も微力ではありますが、西条高校の発展に協力させていただきたいと考えております。





# 同窓会だより

## 第45回卒業生同級会

山内秀敏 (45回)

昨年11月11日、45回卒業生13名が母校の地に集い旧交を温めた。

会合は、昭和では十数回、平成に入ってから、毎年、開催している。

私どもの教室に女子が居たのは小学校一年生の時のみ。(男女七歳にして席を同じうすべからず)

中学校では、学校全体が男子生徒ばかり。日中戦争、太平洋戦争と激動の時代、教課の中に、「軍事教練」もあり、まことに、武骨、純粹、そして多感な学校生活でした。

教育勸語により、忠君愛国、親に孝、夫婦相和しを教導される一方で、女学校の生徒の方々の登下校の様子が気になっていたものです。

同級会の内容については平成25年6月の道前会報に掲載された亡き友、秦昭二君の記事を、同君を偲んで敢えて、再掲させていただきます。

「近年までは、西条、県内、県外と広く会場を移し、その地域の特性を生かした運営に、数十名を超す仲間が相集い盛大に会が催されていたが、お互いいつしか年を重ね、健康上の問題や世話人の問題などが生じ、平成15年より、西条・新居浜・周桑の3地区持ち回りで開くことになった。毎年、何名かは、必ず県外から参加してくれる。誠に有難く嬉しさいっぱいである。感謝。西条が会場の場合、必ず母校で集合ということにしている。道前会館で受け、雑談のあと校門前に集合記念撮影。大手の門の前に立つ

と、大手を振り行進しながら校門をくぐった当時がなつかしく甦る。  
ホテルの車で宴会会場へ、会場では、近況報告、歓談に花が咲く、やがて沈黙節・豪気節で会が一層盛りあがる。最後は、校歌斉唱でしめくくる。」



## 燦々会 琵琶湖周航

栗田 肇 (58回)

我々五十八回生は卒業年が昭和三十三年ですので、同期会の名を燦々会と称して交流を深めてきました。それまでも機会あるごとに集まっておりましたが、やがて定期的には二年毎に集まるようになり西条以外でも交互に関東・関西・中部・岡山・松山と場所

を移して開催してまいりました。  
昨年は関西地区で開催しました。ただ卒業後六十年近くとなり年齢も七十七歳と喜寿を迎えましたので、県外での開催を今回で最後とすることにしました。

関西では三度目となる会は、滋賀県大津市琵琶湖の畔となりました。関西地区幹事の塩出眞一君が中心となり、企画万端準備を下さる案内状発送等は西条の会員も協力させてもらいました。

風薫る五月三十日当日を迎えました。地元からはバスを仕立てて松山西条新居浜の会員が元気に出発し、生憎出席できない荒井道彦君の差し入れを頂き、車内はまるで遠足の気分でした。予定通り余裕を持つての到着です。

各地から馳せ参じた会員は六十四名の参加となりました。ただ、準備のご苦労からか塩出君は直前に病いに伏し参加かなわず真に残念でしたが、工藤治夫君はじめ地区幹事の方々の尽力で支障なく進行できました。

湖畔の宿は大津プリンスホテルです。いずれも眺望がきく室を用意してくれました。同窓会は一次会から二次会と深夜まで盛り上がりました。恒例の仙波忠弘君の『安来節』の踊りは体力を振り絞ったの熱演で、大喝采でした。校歌斉唱ののち燦々会の歌を斉唱して一日目はおひらきです。因みに燦々会の歌の作詞は塩出君、作曲は歌手佐藤由美子さんのご主人で作曲家の立花亮さんです。

翌朝ホテル専用の岸壁より一隻をチャーターして琵琶湖周航に出発です。湖西を北へ進路を取り、途中堅田の浮御堂を上陸参拝して近江八景の世界を体験しました。船中お互いに席を移動し話しに花を咲かせました。比良

八荒の吹き荒れる中、沖島に上陸散策し船中で食事をとり、無事帰着後はお互いの健康と再会を約して解散となりました。

帰路の車中では、会が成功裡に終わったことを安堵するとともにあらためて同期の絆の強さをお互いに感じた二日間でした。

多感な青春時代の三年間を学舎で過ごした仲間が人生の荒波を経て尚友情を保っているのは、郷里と母校を忘れずにいてくれる会員の協力と、なんといっても地元西条に居て会の取り纏めをして下さった村上俊行君宣子さん夫妻の献身的なお世話があつてのことです。また各地の幹事の方々の協力はいうまでもありません。

帰郷後早速、いつものように地元二十余名の参加で反省会を開き、次回燦々会は西条で開催することといたしました。平成二十八年十月十五日(土)に国民休暇村東予で集まり、翌十六日(日)には、母校の新体育館の緞帳見学と内定し、会員に連絡することになりました。



# 感動をありがとう!

卒業50年を記念して 66回卒業生一同

### 第62回卒業生同級会

星加富重(62回)

私達62回卒業生は世話人が12名で、2年に1回持ちまわりで同級会を開催しています。

今回は5組が担当で、私と石川君とで進めてきました。

去年の西条祭りが終わった頃、石川君が「そろそろ同級会の準備を、せないかんのー」と言うので「ほうじゃ、ほうじゃ」と言うことで世話人に集まってもらいました。

忘年会を兼ねての打ち合わせや、昼食会での打ち合わせ等、4〜5回集まりました。

会場探しにも苦労しましたが、日時場所も決まり案内のハガキを発送して、今年2月頃から出席者名簿や、名札の作成等に取りかかりました。

名前を間違えたら、いけないので慎重に作業をしても、見直すことややり間違っている、人の名前はむずかしい……。

3/25(金)に、遠くは関東から南は九州まで、全国から44名の参加で、ベルフォーレ西条で行いました。

受付で名札をそれぞれに付けました。「同級会 顔を見るより、まず名札」顔を見ただけでは、名前を思い出せない、名札を見てやっと一安心、話はずみです。皆なこういう気持ちではないでしょうか。

まず全体写真を撮り、クラス別のテーブルにつきました。志なかばで、先立たれた同級生を偲び黙祷をささげました。

懇親会は遠くから参加した、南極にも行った真木太一君の乾杯で始まりました。

飲んで、食べて、笑って、しゃべり、久しぶりに石鎚山をみて懐かしかったとか、食堂のうどんが15円だったとか、思い出は忘れません。校歌も大きい声で歌いました。

今回は2年後に再会を約束して万歳三唱で、2時間はあっという間に終わりました。

2次会への送迎バスは、運転手のはからいか、西条高校の前を通っていただき、夜の大手門に、皆な感動していました。

どうか、同級会が終了したが、多々反省する点があったかと思えます。

反省会で、次回に反映したいです。開催地もずっと西条でしたが、西条だから帰ってくるという人、西条以外でやれと言う人それぞれあります。

今後世話人会で検討して、より多くの参加者で同級会を行いたいです。



### 卒業後50年

安永道子(66回)

『長くもあり 短くもあり』  
長いような短いような、あれよあれよという間にその時がやってきました。

私たち66回生は卒業後50年となり、西条高校と道前会よりご招待を受け第116回卒業証書授与式に参列させて頂くことになりました。100名が出席いたしました。当日式場に入る前に同級生一同より体育館に校訓「質実剛健 文武両道 気品と清楚」のプレートを記念品として贈呈し、その目録を校長先生にお渡ししました。前年度の65回卒業生が校歌のプレートを贈呈されていたのでそれに対をなして飾って頂きました。

新装なった体育館に初めて足を踏み入れ63回卒業生日浅和美さんによる「私の内なる石鎚」と題する斬新な石鎚の緞帳に目を奪われました。

今年の卒業生が整然と入場し、担任にひとりひとりの名前が呼ばれ「はい」と言う元気な声が静かな体育館に響き渡りました。卒業生の数は私たち66回生より200人ほど少なく、私たちが団塊の世代であることとして今、少子化になっていることをあらためて感じました。校長先生はじめ来賓の方々の心温まる祝辞があり、卒業生の答辞は高校時代の貴重な思い出や先生や両親への感謝、これからの人生への覚悟などが時に声を震わせながら語られ、私たちも胸に詰

まるものがありました。最後に参加者全員で校歌を歌い、式は厳かに終了しました。卒業生ひとりひとりの未来が恙なく夢多きものであることを祈るばかりです。

式典後、大手門の前で記念撮影をし場所をJAはなゆいに移し、秋川暢宏先生、白木孝昌先生、竹内祐也先生をお迎えし、西条高校合唱部の涼やかな歌声を聞かせて頂き、和やかに同窓会が始まりました。クラス毎に席を用意していましたが、懐かしい顔を見つけてはあちこちで話が盛り上がっていました。

ふるさとを遠く離れた友人たちの地元で根ざした生活、そしてバイトリテイ溢れる仕事や趣味のことなどをうかがいとても刺激になりました。また西条に住む友人たちの細やかな準備によるおもてなしの心も十分に感じました。お互いに元気でいることとして再会を約し閉会となりました。

今回の卒業式の案内や様々な準備

備をしていただきました西条高校、道前会事務局の皆様には心から感謝いたしますとともに今後ますますの母校の発展をお祈りいたします。



### 母校に立つ同窓教職員

卒業回	氏名	教科
69回	高橋 徹	講師・商
71回	一柳 幸利	講師・保体
72回	青野 洋士	講師・保体
72回	星加 洋志	講師・数学
77回	村上 勇人	非常勤・実習助手
77回	神野 雄子	実習助手
79回	川口 洋	教諭・理
79回	高橋 一美	教頭
83回	桑原 恵子	教諭・英
84回	矢野 裕房	教諭・理
84回	近藤 あけみ	教諭・英
86回	藤原 博	教諭・歴史公
87回	近藤 浩志	教諭・商
88回	田邊 水江	教諭・英
90回	田代 知典	教諭・理
90回	菅 哲也	教諭・保体
90回	三崎 直毅	教諭・音





一、本 部

道前会本部 事務局

〒793-8509

西条市明屋敷234

西条高校内道前会館

☎0897-53-2192

FAX0897-53-2192

振替口座01680448745

- 振替口座01680448745
- 会長 村上俊行 (58)
- 副会長 笹沼(田中)美千代 (58)
- 遊口親之 (62)
- 山田順 (71)
- 近藤勝志 (56)
- 武智(十亀)晴子 (56)
- 栗田肇 (58)
- 西原俊基 (58)
- 森実(藤原)真知子 (60)
- 伊藤孝司 (64)
- 高石(曾我部)シユ子 (64)
- 井上隆寿 (65)
- 田中明 (67)
- 武智(日野)美恵子 (67)
- 森(森)多美子 (68)
- 石川智久 (73)
- 藤岡正 (76)
- 烏谷浩 (76)
- 一色(星加)朝美 (76)
- 村上(村上)直子 (78)
- 年森(入交)恭子 (79)
- 高橋勝行 (85)
- 曾我部保次 (87)
- 川口洋 (79)

二、支 部

東京道前会

〒105-0012

東京都港区芝大門1-7-4

トリアザガーデン6F

☎03-5733-2313

FAX03-5401-4762

- 校内理事 矢野裕房 (84)
- 会計監査 阿蘇(伊藤)道子 (57)
- 秦敏明 (63)
- 徳増達史 (71)
- 寺川和夫 (65)

- 会長 山内重徳 (67)
- 副会長 近藤清史 (64)
- 幹事長 明比章 (70)
- 副幹事長 猪川正徳 (74)
- 津田(林)由美 (74)
- 今井洋 (70)
- 得永哲也 (74)
- 福本信彦 (74)
- 瀬川環 (74)
- 村上京子 (97)
- 寺田(鈴木)紀子 (70)
- 曾我夏人 (81)
- 和田卓也 (86)

北海道前会

〒461-0011

名古屋市中区白壁4-28

山路法律事務所内

☎052-931-6306

FAX052-931-6785

- 会長 山路正雄 (50)
- 副会長 渡部宏 (51)
- 森山桂一 (60)

近畿道前会

事務局 圖子洋志

☎06-7635-1433(平日のみ)

- 顧問 堀切民喜 (50)
- 会長 三浦東八 (61)
- 副会長 高須賀(松本)和子 (61)
- 岩崎秀雄 (65)
- 圖子洋志 (69)
- 越智研二 (65)
- 土岐剛三 (58)
- 幹事長 淺木慎一 (72)
- 副幹事長 長野達夫 (58)
- 矢葺延美 (58)
- 河端(二色)睦子 (62)

岡山道前会

〒700-0926

岡山市北区西古松西町5-25-1002

事務局 三浦賢稔

☎086-243-1424

- 会長 菅尊士 (58)
- 副会長 綾部(日浅)知美 (62)
- 幹事長 三浦賢稔 (58)
- 會計長 門田賢強 (53)
- 幹事 高井克清 (52)
- 河原刻也 (53)
- 矢原登 (58)
- 土居(大館)玲子 (59)
- 安永雄 (53)

広島道前会

〒730-0847

広島市中区舟入南3-5-11-1

事務局 大下美恵子

☎082-208-4202

- 監査 安永雄 (53)

福岡道前会

〒818-0011

福岡県筑紫野市阿志岐2371-7

事務局 中路幸信

☎092-925-0733

FAX092-2854-3111

- 相談役 佐竹優 (49)
- 一色敬義 (53)
- 河端正平 (55)
- 伊藤光秋 (56)
- 伊藤(夏目)美恵子 (69)
- 大下(夏目)美恵子 (68)
- 氏家豪 (68)
- 松本真理 (88)

松山道前会

〒791-0303

東温市北方722-2

(株)フォーネット内

☎089-960-6338

FAX089-966-1038

- 相談役 三浦晃 (49)
- 日野利夫 (57)
- 松浦弘 (57)
- 藤本諫男 (58)
- 亀岡高橋マリ子 (65)
- 木藤義典 (68)
- 徳永周三 (69)
- 渡部(横井)英子 (76)
- 安藤敏朗 (68)
- 榊鏡猛 (60)
- 寺町達朗 (77)

今治道前会

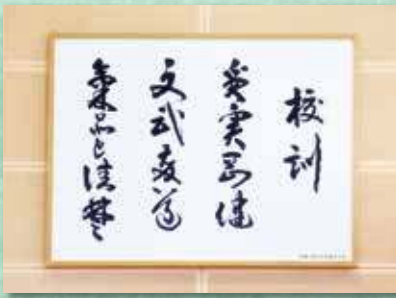
〒799-1522

今治市桜井1-11-1

(株)旭東産業内

☎0898-48-5637

- 会長 西辻勝平 (52)
- 副会長 村上(寺川)小夜子 (63)
- 長井孝司 (70)
- 戸田廣行 (72)
- 安藤志朗 (78)
- 中須裕二 (85)
- 西条市役所道前会
- 〒793-8061
- 西条市明屋敷164
- ☎0897-56-5151(代)
- FAX0897-52-1200
- 会長 真鍋和年 (66)
- 副会長 菊池篤志 (67)
- 幹事長 藤岡正 (76)
- 監査 武田聡 (77)
- 白川裕三 (78)
- 副会長 真木光夫 (55定)
- 松本守正 (57定)
- 山崎輝雄 (74定)
- 幹事 大森正清 (60定)



今回卒業50年を迎えた66回生から体育館舞台右側に校訓額を設置していただきました。

### 体育館用 校訓額の寄贈

## 菅船長の孫が訪問

さる、2月29日に、菅船長の御孫さんに当たります杉山兄弟が本校を訪ねて参りました。菅船長は、本校第一回卒業生です。  
第2次世界大戦中に、菅船長が座乗する長崎丸は、上海からの帰航中、長崎港外で味方の機雷に触れて沈没し、多くの死者、行方不明者を出しました。  
海難審判では、船長の過失なしとされましたが、責任を取り、自決しました。  
現在、菅船長の次女が御存命中で、昨年10月24日菊間町で行われた、慰霊顕彰式典には、お元氣な姿を見せられました。  
菅船長の銅像は、本校道前会館の前にあります。

## 第4回イギリス・スタディツアー

2016.3.19~30 実施 理数科・普通科27名参加 西条高校理数科長 園部 孝行



産業革命発祥の地 世界遺産アイアンブリッジにて 2016.3.24

道前会の皆様には、イギリス・スタディツアーの実施につきまして、いつも温かいご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今回のツアーでは、ケンブリッジ大学、ロンドン大学、グリニッジ大学の多くの先生方の協力によって、「持続可能なエネルギー利用」をテーマに、マンチェスター産業科学博物館やロンドン・サイエンスミュージアム内での研修や先生方の講義受け、それらに関する活発なディスカッションを行いました。また、アイアンブリッジでは、産業革命の歴史やエネルギー利用に関する研修もできました。イギリス南西部のトゥローカレッジでは、参加生徒はカレッジの学生に向けての研究発表を行い、カレッジの学生向けの講義や実験指導も受けることもできました。これらの成果を、今後の学校生活や将来に大いに活かしてくれるものと確信します。

末筆ながら、第66回卒業生有志の皆様および第66回卒業の7、8組の皆様より、本ツアーに対し、過分なる寄付金をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

**緊急のお願い!**  
会費(年会費二千元)の納入にご協力をお願いいたします。  
道前会の主要事業である母校生徒たちの活動への補助、各支部道前会への補助について大幅な見直しを迫られています。  
ご支援下さいますよう重ねてお願いいたします。

## 寄贈図書目録 H27年度

私の生きがい【第5集】	三好浩文	58回	栗田 肇
原爆投下 黙殺された極秘情報	松本秀文・夜久恭裕	91回	松本秀文
新幹線を走らせた男 国鉄総裁 十河信二物語	高橋団吉	59回	松本慶三
大西瀧治郎 神風特攻を命じた男	西村 誠	59回	松本慶三
歌集 草ほたる	菊地豊栄	63回	菊地豊栄
如月 16号	菊地豊栄	63回	菊地豊栄
風で読む地球環境	真木太一	62回	真木太一
耕地環境の計測・制御 一役立つ新しい解説書-	真木太一 他	62回	真木太一
中国の砂漠化・緑化と食糧危機	真木太一	62回	真木太一
新編 農業気象学用語解説集-生物生産と環境の科学-	新編農業気象学用語解説集編成委員会編	62回	真木太一
農業気象災害と対策	真木太一 他	62回	真木太一
緑の砂漠を夢見て	真木太一	62回	真木太一

## 寄贈絵画目録 H27年度

絵画 『私の内なる石鎚』 緞帳原画	63回	日浅 和美
絵画 『3月』	63回	日浅 和美

## 寄附金芳名録 H27年度

85回理	松本 真理	65回	藤原 健嗣
63回3年5組	おおむね会	総会・親睦会で寄附	

## 緞帳見学会

新体育館緞帳見学希望の方は**10月16日(日)午前10時30分**に大手門前にご集合下さい。  
道前会長がご案内致します。  
別の日に緞帳見学希望の方は、道前会事務局までご連絡下さい。

◎50年目の卒業式  
会員の皆様卒業されて50年目には、後輩の卒業式に御出席いただきまして、晴れやかに果立ち行く生徒達の門出を祝していただきたくお願いしております。西条高校第117回卒業式が平成29年3月1日に挙行される予定です。  
この卒業式は67回の卒業生が該当しますので是非御出席ください。改めて、案内状を差し上げます。

◎行事開催予定欄  
なるべく多くの会員に同期会や同級会に御出席いただくため、会報に行事予定欄を設けました。開催を予定している行事がありましたら早めに事務局まで御連絡ください。  
なお、同期会などの開催のため、案内状などの発送を事務局ではお手伝い致しません。お気軽に御相談ください。

